

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	観光振興課	職	課長	氏名	新谷 和幸
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H27)	21,055 (H24)	(H25)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
				(年度)	(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	1 3大都市圏からの入り込み客数	千人	10000 (H27)	6832 (H24)		1 石川県観光創造会議開催費	観光客全般	1,500			
							2 国内誘客戦略強化費	観光客全般	2,000			
							3 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	観光客全般	3,000			
		2 隣県からの入り込み客数	千人	3,150 (H27)	2,576 (H24)	(H25)	1 いしかわ観光特使ネットワーク事業費	観光客全般	9,100			
							2 ふれあいと体験事業費	観光客全般	8,000			
施策1	課題1	体験交流観光の推進	千人	2,800 (H27)	2,232 (H24)	(H25)	再掲	ふれあいと体験事業費	観光客全般	8,000		
	課題2	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	(H25)	1 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320		
								2 いしかわナイトツアー開発支援事業費	一般観光客	4,000		
								3 いしかわスイーツ博開催事業費	一般観光客	15,000		
								4 観光地魅力アップ推進事業費	市町等	50,000		
								5 観光案内サイン整備事業費	一般観光客	100,000		
	課題3	イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H27)	393・93,112 (H24)	(H25)	1 戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	コンベンション主催者	5,000		
							2 金沢城・兼六園四季物語開催事業	一般観光客	8,729			
課題4	おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	(H25)	再掲	観光地活性化推進事業費	市町等	24,320		
課題5	人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H27)	27・882 (H24)	(H25)		ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	6,300		
課題6	効果的な情報発信	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	(H25)	1 ほっと石川観光キャンペーン事業費	3大都市圏等観光客、旅行業	53,390			
							2 旬のいしかわネット配信事業費	県外観光客	6,000			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	石川県観光創造会議開催費	<b>事業開始年度</b>	H17	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	観光戦略推進部企画調整室
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン			<b>成 職・氏名</b>	専門員 巽 陽一

**事業の背景・目的**

観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」の推進にあたって、高い識見をお持ちの各界各層の方々から新しい時代の観光振興政策に対する大所高所からのご提案をいただく「石川県観光創造会議」を開催し、その提案を活かした新しい時代にふさわしい観光振興策を展開する。

**事業の概要**

- I 石川県観光創造会議
1. 会議の構成
    - (1) 委員数 20人
    - (2) 構 成 各分野の第一人者（交通、国際、観光、芸術・文化、食、海外誘客など）
    - (3) その他 委員のほか、特別顧問（石川県観光大使）として、仲代達矢氏など10名が就任
  2. 会議の概要
    - (1) 開催数: 年1回
    - (2) 役 割
      - ①北陸新幹線開通を見据えて、新しい観光のあり方等への提案
        - ・国内外からの入り込み客数の目標達成に向けた誘客方策
        - ・石川の魅力、個性、印象など観光石川のブランド創出に向けた方策
      - ②本県の観光応援団としてのPR的機能を発揮
    - (3) 開催時期: 平成25年10月頃
    - (4) 開催場所: 未定
- II 観光総合プロデューサーの設置
1. 目 的 観光プランを総合的に推進するため、全体にわたって企画等の指導、助言をするプロデューサーを配置し、プラン推進の原動力の役割を担うこととする。
  2. 観光総合プロデューサー 早川 和 良 氏（CMプロデューサー）

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	3大都市圏からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832			
<b>指標</b>	隣県からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576			
事業費							
(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
<b>事業費</b>	予算	2,000	1,750	1,500	1,500		
	決算	2,000	1,750	1,500	1,500		
<b>一般</b>	予算	2,000	1,750	1,500	1,500		
	決算	2,000	1,750	1,500	1,500		
<b>財源</b>	決算	2,000	1,750	1,500	1,500		
<b>事業費累計</b>	9,095	10,845	12,345	13,845			
<b>評価</b>							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性							
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	国内誘客戦略強化費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	主任主事 梨井 淑広
						者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3954

**1 目 的**  
 新ほっと石川観光プランに掲げる、「首都圏誘客500万人構想」、「三大都市圏1000万人構想」の実現を図るため、旅行商品造成や、MICEや修学旅行の誘致など、それぞれの分野により戦略的な事業展開を強化していく必要がある。このため、それぞれの分野において人脈や経験が豊富で情報に精通している方をアドバイザーに委嘱し、具体的な助言をいただきながら戦略的な国内誘客を展開していく。

**2 事業内容**  
 国内誘客について、それぞれの分野に精通した方々を「国内誘客戦略アドバイザー」として委嘱

(1)委嘱数 6名程度  
 (2)分 野 ①誘客戦略(旅行商品づくり)  
 アドバイザー例:交通事業関係者  
                   旅行会社関係者 など  
 活 用 例:顧客ニーズの聞き取り  
                   →ニーズに対応した旅行素材に磨き上げ、旅行会社に売り込み

②MICE・修学旅行の誘致  
 <MICE>  
 アドバイザー例:国際会議の専門業者 など  
 活 用 例:MICE主催者が求める要望を聞き取り  
                   →具体的な企画提案に反映

<修学旅行>  
 アドバイザー例:修学旅行の業界団体 など  
 活 用 例:学校誘致に効果的な情報を聞き取り  
                   →具体的な企画提案に反映  
                   学校長を対象とした修学旅行の研究集会の情報

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	効果的な情報発信					
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	10,000	6,999	7,268	6,969	6,983	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					2,000
	決算					
一般財源	予算					2,000
	決算					
事業費累計						2,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	事業開始年度:	H24	事業終了予定年度:		
	根拠法令	STEP21			
	・計画等				

作	組	織	観光推進課		
成	職	・氏名	主事 加茂野 優子		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1539 内線 3954

**事業の背景・目的**  
 三大都市圏誘客1000万人構想を実現するために、全国では初めてとなる香川県との観光パートナーシップ協定に基づく合同観光PRイベントを関西圏に引き続き首都圏並びに中京圏で行い誘客を図ることが極めて重要である。  
 このため、首都圏及び中京圏からの時間距離が同程度であり、互いに共通する観光資源をもつ香川県とその観光資源を対比させて行う新たな手法を用いた観光PRを、重要な施策として位置づけ、来年度も継続して実施することで、本県の観光資源の魅力を最大限に引き出し、観光情報発信を強化することで三大都市圏1000万人構想の達成を目指す。

**事業の概要**  
 首都圏での合同観光キャンペーン  
 イオンなど大型商業施設や人が多く集まる観光イベント等を活用した観光PRを実施するとともに県産食材を使った食の販売や物産品の展示・販売等を行う。

○中京圏9月頃、首都圏10月頃  
 (1) 首都圏マスコミキャラバン  
 (2) 伝統文化を活用した両県による観光PR  
     御陣乗太鼓(石川県)、庵治(あじ)締太鼓(香川県)披露  
     能登キリコ(石川県)、現代アート(香川県)展示コーナー  
 (3) 観光PR隊による観光PR  
     レディカガ(石川県)、源平紅白キャラバン隊(香川県)  
     のとドン(石川県)、うどん脳(香川県)  
     三枝こころ(石川県出身モデル)、藤澤恵麻(香川県出身モデル)  
 (4) 物産品(和菓子、酒、工芸品等)の展示販売  
 (5) 体験コーナー  
     和菓子づくり(石川県)、箸づくり(香川県)  
 (6) 来場者アンケート、市場調査の実施(今後の誘客施策に活用)

**事業費**  
 石川県負担 : 3,000千円

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	効果的な情報発信					
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	10,000	6,999	7,268	6,969	6,983	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				4,800	3,000
	決算				4,800	
一般財源	予算				4,800	3,000
	決算				4,800	
事業費累計					4,800	7,800
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわ観光特使ネットワーク推進事業費	<b>事業開始年度</b>	H19	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作成者</b>	<b>組織</b>	観光戦略推進部企画調整室	
		<b>根拠法令・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン		<b>職・氏名</b>		専門員 土田 ちえ子		<b>電話番号</b>

**◎事業の背景・目的**  
 北陸新幹線の金沢開業を見据え、首都圏をはじめ全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、ロコミによりPRいただける方を、平成22年度に「いしかわ観光特使」として委嘱した。  
 本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使同士及び石川県ゆかりの方々との交流促進により活動の活性化を促し、県外における情報発信の強化と本県への誘客につなげる。加えて首都圏の本県ゆかりの方々の協力を得ながら、広く対外的にもPRする機運を醸成していく。

**◎事業の概要**  
 委嘱期間満了に伴う新規募集を行うとともに、特使の資質を維持向上するため、特使活動のサポートを継続する

(1) 交流会、委嘱状交付式の開催  
 特使による活動報告により特使の活動の活性化を促すとともに、石川県ゆかりの方々との交流を深める場を提供  
 ・開催場所 4か所(首都圏、関西、中京、県内)  
 ・**◎** 首都圏の「首都圏いしかわ交流会」を、県人会等と協力し、一般の方も対象のイベントへ ※関西・中京・県内は次年度の委嘱状交付式と合わせて開催。  
 ・開催形態 県政報告、活動報告、交流会  
 ※首都圏、関西は、特使及び県人会等石川県ゆかりの方々を対象。

(2) 研修旅行の実施  
 実際に訪れて体験したことなどをPRに活用いただくため、新たにオープンした県内施設や話題の地等の見学ツアーを実施  
 ・**◎** テーマ別研修 これまでの地区別から金沢、加賀、能登、白山を含むテーマ別へ(年2回)  
 ・開催形態 金沢駅(県庁)発着の日帰りツアー(定員40名程度)

(3) PRツールの作成等  
 ・**◎** 特使名刺 …… デザインを一新して全員に配布(200枚/1人)  
 ※コンペ等で民間のアイデアを取り入れ、特使活動にふさわしいデザインを選定。  
 ・委嘱カード …… 新規特使+継続特使分(委嘱期間H28.3まで)  
 ※特使活動に協力している観光施設の入館無料  
 ・PRグッズ …… 絵葉書、あぶらとり紙、うちわ等を検討  
 ・委嘱カード …… 継続特使分(H24.4～)

(4) 観光情報等提供  
 ・**◎** 「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)  
 ・パンフレット等送付 …… 定期的送付(年4回)、特使からの送付依頼に応じた送付(随時)  
 ・ホームページ …… 特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	3大都市圏からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	6,832	6,832	
<b>指標</b>	隣県からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576	2,576	2,576	
事業費							
(単位:千円)							
平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	
2,000	7,000	5,500	5,500	5,500	5,500	9,100	
2,000	7,000	5,500	5,500	5,500	5,500	9,100	
2,000	7,000	5,500	5,500	5,500	5,500	9,100	
6,000	13,000	18,500	24,000	24,000	24,000	33,100	
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> ふれあいと体験の旅事業費	<b>事業開始年度</b> H19	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン

<b>作成者</b>	<b>組織</b> 観光振興課
<b>職・氏名</b>	主任主事 釜野 太志
<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1127 内線 3918

**1 目的**  
 これまで取り組んできた「石川型ニューツーリズム」について、その最大の魅力である「人とのふれあい」に焦点をあてた情報発信を行い、本県への旅行意欲を喚起するとともに、実際に体験プログラムを通じてガイドや地元の人とのつながりを深めてもらうことで、旅行後の継続的な交流の促進を図る。

※「石川型ニューツーリズム」とは…世界農業遺産の能登の里山里海を活用した「グリーン・ツーリズム」や「エコツーリズム」、いしかわモノづくり産業遺産を活用した「産業観光」、豊富な温泉や地域の食材を活用した「ヘルスツーリズム」、重要伝統的建造物群保存地区を活用した「アーキテクチャツーリズム」など、多様な地域ブランドを活用した本県ならではのニューツーリズム。

**2 現状と課題**  
**【現状】**  
 平成24年度をもって、個別のニューツーリズムの掘り起し・磨き上げの初期段階を越え、ひとまず全体として情報発信ができる体制が整った。  
**【課題】**  
 ・利用者の拡大を図るには、ターゲットの明確化やアピールの視点を工夫するなど、戦略的な情報発信を行うことが必要。  
 ・石川型ニューツーリズムは、まだまだ発展の余地があり、継続的な掘り起しやブラッシュアップが必要。  
 ・「全国産業観光フォーラムinこまつ」の開催（H25.11）を一過性に終わらせることなく、これを機に、産業観光推進の一層の推進が必要。

**3 取組内容**  
 (1)利用者の拡大に向けた戦略的な情報発信  
 インターネットやリーフレットによる情報発信  
 ・大都市圏に在住の本県ゆかりの人及びその家族、友人などに重点的にアプローチ  
 ⇒家族旅行などでふるさと石川の「本物」を体感し、本県の魅力を語り継いで頂くとともに、口コミにより友人などにもアピールして頂く。  
 おもてなしに通じる「人とのふれあい」にクローズアップした内容で発信  
 (2)体験プログラムの更なる掘り起しと磨き上げ  
 ・農家民宿体験講座の開催、市町との連携によるプログラムのブラッシュアップ など  
 (3)「全国産業観光フォーラムinこまつ」への支援  
 ・フォーラム開催負担金の拠出、誘客先進地との交流 など

⇒これまでの「プログラム内容」のみのアピールから脱却する。

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832			
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576			
事業費							
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業費	予算	4,100	4,960	5,500	6,000	8,000	
	決算	4,100	3,763	4,633	5,252		
一般	予算	900	1,900	2,900	3,400	5,400	
財源	決算	900	1,900	2,900	3,400		
事業費累計		4,100	7,863	12,496	17,748	25,748	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性							
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度:	H20	事業終了予定年度:		作組織:	観光振興課
		根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン			成職・氏名:	主事 清水 敦人
						者電話番号:	076 - 225 - 1538 内線 3948

(事業の背景・目的)  
 温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、各観光協会、広域観光協会等が実施するハード・ソフト事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)  
 観光地ブランド化推進支援事業 24,320千円

- 1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業)
  - (1) 対象事業
    - 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援  
 事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
    - 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援  
 事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、総合案内サインの整備、人材育成など
  - (2) 交付先：市町
  - (3) 経費負担：1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3
- 2 観光地広域連携推進事業
  - (1) 対象事業
    - 広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援
  - (2) 交付先：広域観光協会
  - (3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3
- 3 観光地活性化整備事業 (ハード事業) 平成25年度は要求なし
  - (1) 対象事業
    - 各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援  
 事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など
  - (2) 交付先：各市町 (総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)
  - (3) 補助率、補助限度額
    - ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
    - ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)

(これまでの見直し状況)  
 H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合  
 「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設  
 H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止  
 H24：事務費削減1,800千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	28,800	26,120	26,120	24,320	24,320
	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
一般	予算	28,800	26,120	26,120	24,320	24,320
	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
財源	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
事業費累計		51,050	77,170	103,290	127,610	151,930
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> いしかわナイトツアー開発支援事業費	<b>事業開始年度</b> H22	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> 新ほっと石川観光プラン	

<b>作 組 織</b> 観光振興課
<b>成 職・氏名</b> 専門員 北澤 宏之
<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1542 内線 3925

**1 目 的**  
北陸新幹線金沢開業により、本県と首都圏が2時間半で結ばれることは誘客拡大のチャンスである一方、日帰り客の増加が懸念されることから、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源の掘り起こしを行うとともに、平成25年度からは掘り起こされた観光素材を首都圏等に情報発信を行い誘客の拡大を図る。

**2 事業内容**

(1)夜の観光素材の更なる掘り起こし  
旅行商品化の可能性の高い企画のさらなる掘り起こしを図るため、旅行会社等から企画を募集。

(2)首都圏旅行会社向け素材集作成

①現地調査  
これまでに掘り起こされた素材を専門家があらためて旅行会社の目線で調査する。

②素材のデータベース化  
①で調査した素材を地区、季節などごとに分類整理する。

③商品企画  
②の中から20コース程度を厳選し、首都圏の旅行会社が必要とする情報(料金、マージン、所要時間、交通、運営方法、予約方法、保険等)も加えた上でパッケージ化する。

④首都圏発旅行商品化  
首都圏旅行会社に対し旅行商品の造成を働きかける。

(3)受入体制の整備  
夜の観光素材について地元ホテル、旅館、観光情報センター、交通事業者等との情報共有や旅行商品のパンフレットを配置することにより、観光客のニーズに答えられよう受入体制の整備を図る。

**3 将来の展開(H26～)**

(1)首都圏発の旅行商品造成  
作成した素材集をもとに商品化を行った首都圏旅行会社に対して広告費等を助成することにより、確実な商品化に  
つなげるとともに、改善すべき点を洗い出す。

(2)首都圏旅行会社への情報提供及び意見聴取  
旅行会社及び観光客からの意見を反映させることにより素材集の更なる磨き上げを図る。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>
<b>課題</b>	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
<b>指標</b>	観光地の入り込み客数				<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	
事業費						
	(単位:千円)					
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
<b>事業費</b>	予算		2,000	1,500	4,000	4,000
	決算		2,000	1,500	4,000	4,000
<b>一般財源</b>	予算		2,000	1,500	4,000	4,000
	決算		2,000	1,500	4,000	4,000
<b>事業費累計</b>			2,000	3,500	7,500	11,500
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
<b>事業の有効性</b>						
<b>今後の方向性</b>						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	H27	作組織	観光振興課	
		根拠法令	STEP21				成職・氏名	技師 中村 恵美
		・計画等					者電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925

### 【事業の背景・目的】

北陸新幹線開業に向け、本県の魅力である食をテーマにしたイベントを継続的に実施することで、交流拡大の機運を盛り上げる必要があることから、女性等に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを開催し、菓子（スイーツ）どころ石川をアピールすることで、本県への観光客増大を

### 【事業の概要】

- 1 主催 (社)石川県観光連盟、石川県
- 2 協力 地元洋菓子、和菓子関係団体
- 3 内容 いしかわスイーツ博2013の開催
  - (1)第2回いしかわスイーツコンテスト
    - ①応募資格 全国の製菓学校に所属する学生
    - ②表彰 いしかわスイーツ知事大賞1チーム、準大賞1チーム、部門賞3チーム
    - ③スケジュール 2月頃:プロモーション開始  
4月頃:募集開始  
8月中旬:一次審査(書類審査)  
10月下旬:決勝実技審査
  - (2)いしかわスイーツフェア2013等の開催
    - ①実施時期 平成25年10月26日(土)～10月27日(日)
    - ②内容 <いしかわスイーツフェア2013(しいのき迎賓館)>  
県内の和洋菓子店に加え、県外有名店が菓子処いしかわに集結  
<スイーツコンテスト最終審査(金沢製菓調理専門学校)>  
一次審査を通過した5チームによる最終実技審査を実施  
<協賛イベントほか>  
市内ホテル、和洋菓子店でのオリジナルスイーツ販売  
観光地等でのスイーツ茶会
- 4 事業費 24,500千円(県15,000千円、市町等9,500千円)

### 施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化		
指標	観光地の入り込み客数	単位	千人
目標値	現状値		
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成24年度	平成25年度		
54,886	39,823	41,033	40,003
	39,415		

### 事業費

	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				15,000	15,000
	決算				15,000	
一般	予算				15,000	15,000
財源	決算				15,000	
事業費累計			0	0	15,000	30,000

### 評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光地魅力アップ推進事業費	事業開始年度: H25	事業終了予定年度:	作組織: 観光振興課 職・氏名: 清水 敦人 者電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3954
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン	

**1 事業の目的**  
北陸新幹線金沢開業を見据え、開業効果を金沢のみならず、加賀、能登全域に波及させ、さらには、観光客にご満足いただくことでリピーター化を促すため、温泉地の魅力向上につながる温泉旅館の施設整備を促進する。

**2 内 容**  
市町と温泉地とが一体となって取り組む、街並み景観に調和した外観整備、伝統工芸を活用し施設改修、ユニバーサルデザインを具現化する施設整備といった温泉旅館の前向きで付加価値が向上する積極的な施設整備に対して支援を行う。

○補助対象事業例  
(1) <まちづくり>  
温泉地の街並み景観に調和した建物外観整備(周辺の温泉風情に調和した外壁整備等)

(2) <地域振興>  
石川の文化の活用(伝統工芸や伝統文化を紹介するギャラリー設置等)

(3) <ユニバーサルデザイン>  
すべての人が利用しやすい宿泊施設内改修(ユニバーサルデザインを具現化する施設整備)

○補助対象者 石川県観光連盟加盟の温泉観光協会等に所属する県内の温泉旅館

○補助対象経費 15,000千円以内(うち県5,000千円以内)  
(県1/3、市町1/3、温泉旅館(実施主体)1/3)

○補助金額  
5,000千円以内×10件程度

○事業実施期間 H25、H26年度

**3 予 算 額** H25:50,000千円  
H26:50,000千円  
合計:100,000千円(全額観光連盟基金を取り崩して実施)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					50,000
	決算					
一般財源	予算					
	決算					
事業費累計						50,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光案内サイン整備事業費	事業開始年度: H25	事業終了予定年度:	新ほっと石川観光プラン	作成者	組織: 観光振興課
	根拠法令・計画等	職・氏名: 山崎		電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3954	

**1 背景**  
 本県の観光案内サインは平成6年から平成16年に整備され、現在351箇所となっているが、平成26年度末の北陸新幹線金沢開業を控え、本県では道路整備が進んでいるほか、3月31日の能登有料道路無料化など観光を取り巻く環境の大きな変化により県内外からの観光客の増加が見込まれる。  
 < 主な要因 >  
 ・北陸新幹線金沢開業(平成26年度末)  
   ・南加賀道路や白山ICの開通などの道路整備  
 ・能登有料道路の無料化(平成25年4月)  
   ・能越自動車道七尾氷見道路全線開通(平成26年度中)

**2 対応**  
 北陸新幹線金沢開業を見据え、新たな道路整備への対応、無料化される県内有料道路沿線観光地への拡充、県内重要伝統的建造物群保存地区等の表示など、県内観光資源への一体的かつ連続的なサインを平成26年度末までに整備する。

**3 事業内容**  
 ○平成25年度 のと里山海道本線上の不足分の整備  
   新たな道路の開通による不足分の整備  
   重要伝統的建造物群保存地区の新規整備  
  
 ○平成26年度 のと里山海道で道路標識に加えて観光案内サインを整備  
   新たな道路の開通による不足分の整備  
   年間入込数が新たに概ね10万人を超える施設等への案内サインの整備

**4 事業費** 平成25年 100,000千円 (県100,000千円) N=33箇所  
 平成26年 N=30箇所程度

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					100,000
	決算					
一般財源	予算					25,000
	決算					
事業費累計			0	0		100,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	事業開始年度	S63	事業終了予定年度		
		根拠法令	新ほっと石川観光プラン			
		計画等				
		作組	組織 観光振興課			
		成職	氏名 専門員 小林 満美子			
		者電	話番号 076 - 225 - 1539 内線 3921			

**事業の背景・目的**  
 学会等の誘致を促進するために、(財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

**事業の概要**

- 1 コンベンション都市推進事業
  - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招請など、日本政府観光局マーケティング事業を活用して実施する。
- 2 コンベンション都市広報事業費
  - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う。
- 3 コンベンション活性化推進事業
  - (1) 着地型情報提供事業
    - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ2012」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につなげる着地情報として配布・提供する。
  - (2) インターネット等情報端末発信事業
    - ・コンベンション主催者及び参加者に対し、注目度を高めるホームページを展開するほか、スマートフォンなど携帯端末からの情報収集が可能にする。
  - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
    - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
  - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
    - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
- 4 MICE推進事業
  - MICE誘致・展開事業
    - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるため、中国と韓国をターゲットに商談会や展示会等の参加、ファムトリップ・インセンティブ招請受入事業を実施し、石川・金沢の魅力を積極的にアピールしていく。

**これまでの見直し状況**  
 平成12年に加賀・能登ランチを小松・七尾商工会議所内に開設し、コンベンションの県下全域対応ができるよう、組織強化を図った。

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	イベント、コンベンションの振興					
	指標	コンベンション開催・参加者数			単位	件・人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	400	324	353	362	393	
	96,800	74,715	75,575	73,999	93,112	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
	決算	4,952	4,952	4,952	5,000	
一般	予算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
	決算	4,952	4,952	4,952	5,000	
財源	決算	4,952	4,952	4,952	5,000	
事業費累計		100,962	105,914	110,866	115,866	120,866
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度:	H14	事業終了予定年度:	
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		
			作組織:	観光振興課
			成職・氏名:	主事 高 慎太郎
			者電話番号:	076 - 225 - 1542 内線 3926

## 事業の背景・目的

石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

## 事業の概要

1. **金沢城イベント**・・・四季折々の金沢城の魅力を、音と光で演出するイベント  
《金沢城フェスティバル》 平成25年6月上旬
2. **金沢城・兼六園ライトアップ**・・・雰囲気の異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップイベント  
《初夏の段》 平成25年 6月上旬  
《秋の段》 平成25年11月中旬  
《冬の段》 平成26年 2月上旬

負担金交付先: 石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長: 石川県観光交流局長)  
事業規模: 17,386千円 (県負担 8,729千円 金沢市負担 8,729千円)

## これまでの見直し状況

平成11年度に、それぞれの事業毎に実行委員会を組織していたものを一本化し、「石川の四季観光キャンペーン実行委員会」として、年間を通じて事業を実施している。

## 施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	イベント、コンベンションの振興					
	指標	コンベンション開催・参加数			単位	件・人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	400	324	353	362	393	
	96,800	74,715	75,575	73,999	93,112	

## 事業費

(単位: 千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
	決算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
財源	予算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
	決算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
事業費累計		63,040	73,280	83,707	92,789	101,518

## 評価

	項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性			
今後の方向性			



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度	H23	事業終了予定年度	
		根拠法令	STEP21		
		・計画等			

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	主事 正木 康子		
者	電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3929			

**1 目的**  
北陸新幹線の金沢開業を見据え、「おもてなし」の心を持って観光客を迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施する。

**2 事業内容**

(1)「ほっと石川おもてなし推進協議会」の開催 (300千円)  
各業界での課題や取組状況などの意見交換、全県的なおもてなし向上に向けた取組の推進等

(2)「おもてなし推進大会」の開催 (2,000千円)  
各地域の特色あるおもてなしの取組の事例発表や著名人によるおもてなしの講演等  
※開催地(案): 白山市、羽咋市、小松市

(3)「観光おもてなし塾」の開催 (1,500千円)  
観光事業者(宿泊施設・飲食店従業員、交通事業者、ボランティアガイド等)のスキルアップを図る研修会を実施

(4)「おもてなし講座」の開催 (1,500千円)  
県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとして、地域の集会や行事等に無料で講師を派遣し、講座を実施

(5)(新)「おもてなし体験談」の活用 (1,000千円)  
おもてなしから生まれた心あたたまる出会いや感動のエピソードなど県民から寄せられた体験談の中から、見本となる事例を県民に広く周知

**3 事業費**  
6,300千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	人材の育成					
	指標	ボランティアガイド団体・参加者数			単位	団体・人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	30団体:800人	26団体:1040人	25団体:836人	25団体:836人	27団体:882人	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算		5,000	4,100	8,300	6,300
	決算		5,000	4,100	8,300	
一般財源	予算		5,000	4,100	8,300	6,300
	決算		5,000	4,100	8,300	
	事業費累計		5,000	9,100	17,400	23,700
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性					
	今後の方向性					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほっと石川観光キャンペーン事業費	事業開始年度	H6	事業終了予定年度		作成者	組織	観光振興課
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			職・氏名	主事 中島 光裕	
					電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922	

**事業の背景・目的**  
 北陸新幹線金沢開業を見据え、アクションプラン「STEP21」の重点プロジェクトや交通インフラの積極的活用、温泉旅館等の活性化支援を推進するとともに、多様化する旅行者のニーズに対応した情報発信や、テーマを絞った情報発信、特定機関を対象とした誘客促進などを行うことにより、「新ほっと石川観光プラン」に掲げた三大都市圏誘客1000万人構想の実現を目指す。

**事業の概要**  
**1. 情報発信事業**  
 1-1 認知度の向上  
 (1) マスメディアを活用した情報発信  
 雑誌、新聞等各種メディアとタイアップした事業を実施

(2) 地域を限定しない効果的な情報発信  
 OEK情報発信、など

**2. 受地取組事業**  
 観光地の魅力創出  
 (1) JRタイアップキャンペーンによる期間限定イベントの実施

(2) 着地型旅行の推進  
 百万石風情の旅

交付先: 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
54,886	39,823	41,033	40,003	39,415		

事業費						
(単位: 千円)						
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
	決算	98,948	74,150	55,850	47,980	
一般	予算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
	決算	98,948	74,150	55,850	47,980	
財源	決算	98,948	74,150	55,850	47,980	
事業費累計	286,175	360,325	416,175	464,155	517,545	

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性	
今後の方向性	

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 旬のいしかわネット配信事業	事業開始年度: H24	事業終了予定年度:	作 組 織 : 観光振興課 成 職・氏名 : 主事 加茂野 優子 者 電話番号 : 076 - 225 - 1539 内線 3921
	根拠法令 ・計画等		

**1 目 的**  
 ・インターネットを活用した宿泊予約が増加している状況を踏まえ、個人客をターゲットとした効果的な発信により誘客促進を図る  
 ・物見遊山の旅行から趣味・趣向を求める旅行へ旅行目的が変化していることを踏まえ、ターゲットが求める情報(趣味・趣向、家族旅行等)を必要な時期(タイミング)に発信する

**2 事業内容**  
 (1) 大手旅行予約サイトを活用した効果的な情報発信  
 → 趣味・趣向を求める旅行者が増加していることを踏まえ、石川ならではの特色をテーマとしたPRを季節毎に展開  
 (年4回実施)  
 春: ドライブ(のと里山海道)  
 夏: 自然・文化(重要伝統的建造物群保存地区、世界農業遺産などの自然や芸妓などの伝統文化)  
 秋: 温泉(加賀四湯、辰口温泉、白山温泉郷、湯涌温泉、和倉温泉、輪島温泉郷等)  
 冬: 食(カニ、ブリ、かき、加賀料理、ご当地グルメ等)

(2) 大手福利厚生代行会社とタイアップした企業会員への誘客プロモーションの展開  
 → 誘客効果の高い夏休み前に、大手福利厚生代行会社(H24:1社→H25:2社)とタイアップしたプロモーションを展開することにより、より多くの企業会員へダイレクトな情報発信を図り、宿泊予約の増加を目指す  
 ① 会報向けの会報誌による情報発信  
 ② 会員向けの専用ホームページへの本県特集ページの掲載  
 ③ 会員向けのメールマガジンによる情報発信

※福利厚生代行会社…宿泊・レジャー等の余暇支援サービスなどを、民間企業や公官庁から一括契約(代行)し、契約企業の社員に割安な会員価格で提供する企業

**3 事業費**  
 12,000千円(県負担:6,000千円、市町:6,000千円)

**4 交付先**  
 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
54,886	39,823	41,033	40,003	39,415		
事業費						
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算			6,000	6,000	
	決算			6,000		
一般	予算			6,000	6,000	
財源	決算			6,000		
事業費累計			0	6,000	12,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						